



## これからの中年社会を見据え、関係者・市民 一体となつた取り組みを進めてまいります。



介護ケア推進担当部長  
**丹野 英司 様**

今年2025年はいわゆる団塊の世代の方々が75歳以上となられます。我が国の高度成長の礎を築いた方々が高齢期を安心して過ごせるよう環境整備を急ぐとともに、高齢期を迎えた方々を支えるご家族等にも目を向けた支援の仕組みづくりの重要性も高まっています。そうした背景も踏まえ、京都市では市議全員の熱い思いが結実し、「京都市ケアラーラー支援条例」が昨年11月に制定されました。社会全体でケアラーラーを支え、すべてのケアラーラーが健康で文化的な生活を営み、自己実現を図ることができる社会の実現を目指しています。

こうした社会の実現にあつては、介護保険サービス等のご利用者だけではなく、そのご家族に寄り添い、個々のご希望等をくみ取りながら、業務に取り組まれている事業者の皆様のご尽力な

くしてはなしません。京都市において、その先頭を走つておられる貴協議会の皆様とともに、より一層、関係者・市民一体となつた取組を進めていきたいと考えております。今後ともご協力よろしくお願ひいたします。

また、介護が必要になる方の増加が見込まれる一方で、生産年齢人口の減少に伴い、様々な産業分野で担い手不足が深刻化しています。国においても

ICT化の促進や配置基準の弾力化等、将来の介護需要への対応が検討されていますが、今後を見据えると、ケアの効率化・負担軽減、外国人人材をはじめとした扱い手のすそ野を広げていくといった取組は避けて通れないものと考えています。守るべきものはしっかりと守りつつも、更なる進化に向けて、貴協議会等の介護の第一線で働くかれている皆様のご意見を頂戴しながら、本市も知恵をしぼり、また関係機関等へ働きかける等、共に汗をかいて参ります。

※ケアラーラーとは

高齢、身体上又は精神上の障害、疾病、使用する言語等により援助を必要とする親族、友人、その他の身近な人に對して無償でケアを提供する者のこと

## INDEX

- 01 行政からのごあいさつ**
- 02 京都市老人福祉施設協議会 新役員体制のご挨拶**
- 03 京都市老人福祉施設協議会 歓送迎会**
- 04 令和7年度新入職員合同入職式**
- 06 未来のかいごイラストコンテスト募集 第9期ハートメッセンジャー委嘱式・研修報告**
- 07 経営委員会の取り組み**
- 08 新規施設紹介 京都市菊浜特別養護老人ホーム**

協議会のYouTubeとInstagram登録を、  
ぜひよろしくお願ひいたします！



YouTube



Instagram



# 一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会

## 新役員体制の ご挨拶

平素は当協議会の事業に格別のご高配を賜り、厚く感謝申し上げます。さて、令和7年3月26日の会員総会において新役員（理事・監事）が選任され、4月1日の臨時理事会で会長、副会長を選任いたしました。

介護人材の不足や数年前から続く急激な物価の上昇など、高齢者福祉を取り巻く課題はたいへん多岐にわたりますが、市民の皆様の暮らしづを支える社会福祉法人の使命と、協議会が果たすべき役割の重さを認識し、役員一同決意を新たに会務運営に尽力する所存です。

何卒ご指導、ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。



始田 知大 理事（社会福祉法人美郷会 大枝美郷）

西村 久史 副会長（社会福祉法人勤修福祉会 長樂園）

北田 恵美子 理事（社会福祉法人フジの会 みやびのその）

河本 歩美 副会長（社会福祉法人京都福祉サービス協会 紫野）

新川 昌代 理事（社会福祉法人健光園 健光園あらしやま）

河合 悟 副会長（社会福祉法人洛南福祉会 レーベン横大路）

村上 ちこ 理事（社会福祉法人かなえ福祉会 すないの家太秦）

石田 昌男 理事（社会福祉法人富士園 梅津富士園）

児玉 直久 会長（社会福祉法人香東園 香東園やましな）

村上 幸子 理事（社会福祉法人京都基督教福祉会 シオンの里）

竹田 史門 副会長（社会福祉法人同和園 同和園）

坪倉 真樹子 理事（社会福祉法人七施会 アムールうずまさ）

鈴木 克啓 理事（社会福祉法人伏見にちりん福祉会 ケアハウス西院）

林 忍夫 副会長（社会福祉法人協和福祉会 ケアハウス山科）

濱口 洋行 監事（社会福祉法人市原寮 花友しらかわ）

西村 英亮 監事（社会福祉法人洛東園 洛東園）

田中 裕介 副会長（社会福祉法人嵐山寮 嵐山寮）

石田 雅之 監事（社会福祉法人仁恵会 ユーカリの里）

馬場 協一郎 理事（社会福祉法人京都老人福祉協会 京都老人ホーム）

溝口 武美 副会長（社会福祉法人北桑会 なごみの里）

## 歓送迎会を開催しました

令和7年4月23日、ホテルオークラ京都にて、京都市老人福祉施設協議会の歓送迎会を開催しました。当日は、行政関係者をはじめ、関連団体の皆さんにもご出席いただき、総勢109名の方々にご参集賜りました。

冒頭では、本会児玉会長より開会の挨拶が行われ、その後、保健福祉局健康長寿のまち・京都推進担当局長八代康弘様より、来賓代表挨拶をいただきました。また、来賓紹介の時間では、京都の地域福祉を支える多くの関係団体の皆様をご紹介させてい

ただきました。

歓談の時間には、各施設の異動状況などの報告もあり、参加者同士の交流が深まりました。締めくくりには本会林副会長より中締めの挨拶が行われ、温かな雰囲気の中で会は幕を閉じました。

本会は、引き続き関係機関との連携を大切にしながら、地域の高齢者福祉の充実に努めてまいります。

(総務委員会 組織運営部会)



# 京都市の全施設が集まつた合同入職式

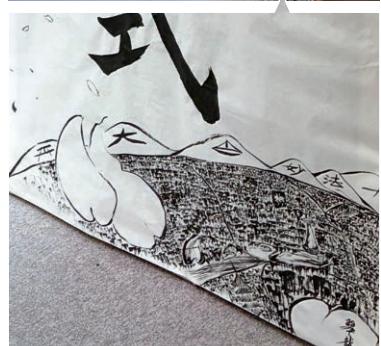
令和7年4月26日（土）ひと・まち交流館京都にて令和7年度新入職員合同入職式を開催しました。京都市の共催のもと「仲間意識と記憶に残る」をコンセプトに市老協が一体となつて90名の入職者を歓迎しました。



来賓の挨拶では京都市の松井市長からビデオメッセージで「お一人お一人の活躍が、京都の明るい未来を切り開いていくと信じています」など激励の言葉を頂き、山谷大学の志藤修史教授からも「ご祝辞を頂きました。入職者はもちろんのこと、福祉関係者の心にも響きました。

合同入職式が、新たな門出を迎えた皆さんとのこれからの中人生におけるかけがえのない出来事と墨を使って桜が舞い散る京都市内を鳥になつたように上空から見た景色が描かれています。

会いと、温かい「仲間意識」を育むきつかけとなることを願っています。



## 入職者代表あいさつ

今回の入職者代表あいさつは、ご本人より福祉に対する思いや決意を自分自身の言葉で伝えていただくこととし、入職者を代表してお一人の方より力強いあいさつをいただきました。

最初は緊張した様子のお二人でしたが、立派に堂々と発表されました。



社会福祉法人洛南福祉会 レーベン横大路の尾井 楓介さんは「施設の一職員として、向上心を持ち、介護の知識や技術を学ぶ姿勢を忘れず、利用者に寄り添う介護のできる職員になりたい」と決意を表明しました。

また、社会福祉法人北糸会 高齢者総合福祉施設しうざんの、ミヤンマー出身のソーソー・ミヤツさんは「これからも『利用者と一緒に楽しみながら、たくさん的人に喜んでもらえるように頑張りたい。そして、介護福祉士を目指したい』と抱負を述べました。お二人それぞれが挨拶文の中で、「一緒にがんばりましょう」というメッセージを同期となる会場の参加者へ呼びかけ、会場全体が大きな拍手でいっぱいになりました。

## チームエンパワーメント代表 田中孝史さま講演

「WELL HELP U」プロジェクト

人に優しい街づくりを実現するために活動されているチームエンパワーメントの方々。



(人材確保・定着委員会)

市老協一同、入職者の皆様がこれから高齢者福祉職員、京都市老協の一員として大いにご活躍されることを願っています。



## スピードくじ

昨年より開催しているスピードくじを今年も行いました。昨年、

もう少し当選者が多ければいいなあ、というお声を受け今年は当選者数を7名から10名に増やし、当選商品にはゲストでお招きしたチームエンパワーメントさんのグッズ、近江牛カタログ、高級ドライヤーなどをご用意させていただきました。

司会進行や商品の紹介はハートメッシュセンターなどをご用意させていただきました。

4名にご協力いただき大いに会場を盛り上げもらい、当選された皆さんや会場からは喜びの歓声が聞かれました。結びに河合副会長より入職者の皆さんへエールのお言葉をいただき閉会となりました。



くじを今年も行いました。昨年、もう少し当選者が多ければいいなあ、というお声を受け今年は当選者数を7名から10名に増やし、当選商品にはゲストでお招きしたチームエンパワーメントさんのグッズ、近江牛カタログ、高級ドライヤーなどをご用意させていただきました。



(人材確保・定着委員会)

市老協一同、入職者の皆様がこれから高齢者福祉職員、京都市老協の一員として大いにご活躍されることを願っています。



# 未来のかいご イラストコンテスト

京都市内に在住または通学している  
小学生・中学生のみなさんを対象に、今年もイラストコンテストを開催します!

今回のテーマは、「高齢者がイキイキと暮らせる町」

おじいさんやおばあさんが、安心して楽しく毎日を過ごし、生きがいや役割を持ちながら地域とつながれる—  
そんな“理想の町”のアイデアを自由な発想で表現した作品を募集します。

令和7年12月31日(水)

募集期間 令和7年「介護の日」11月11日火～令和8年1月9日金

※詳細は今後お知らせします。ぜひ、関係者のみなさまにもシェア・ご紹介をお願いいたします。

諸事情により変更させていただきました



今年も開催決定!

令和7年度京都市老協  
「介護の日」記念事業

## KYOTOかいご フォトコンテスト

今年も「介護の素晴らしさ、喜び、楽しさ、やりがい、感謝」が伝わる作品を募集します。今年は職員さんの笑顔に注目した賞を新設! ぜひ奮ってご応募ください。



募集期間：8月初旬～9月末

詳細は、随時 KYOTO かいごフォトコンテスト特設サイトにてお知らせします。<https://jimukyoku04.wixsite.com/kyoto-srk-photo>

(人材確保・定着委員会)

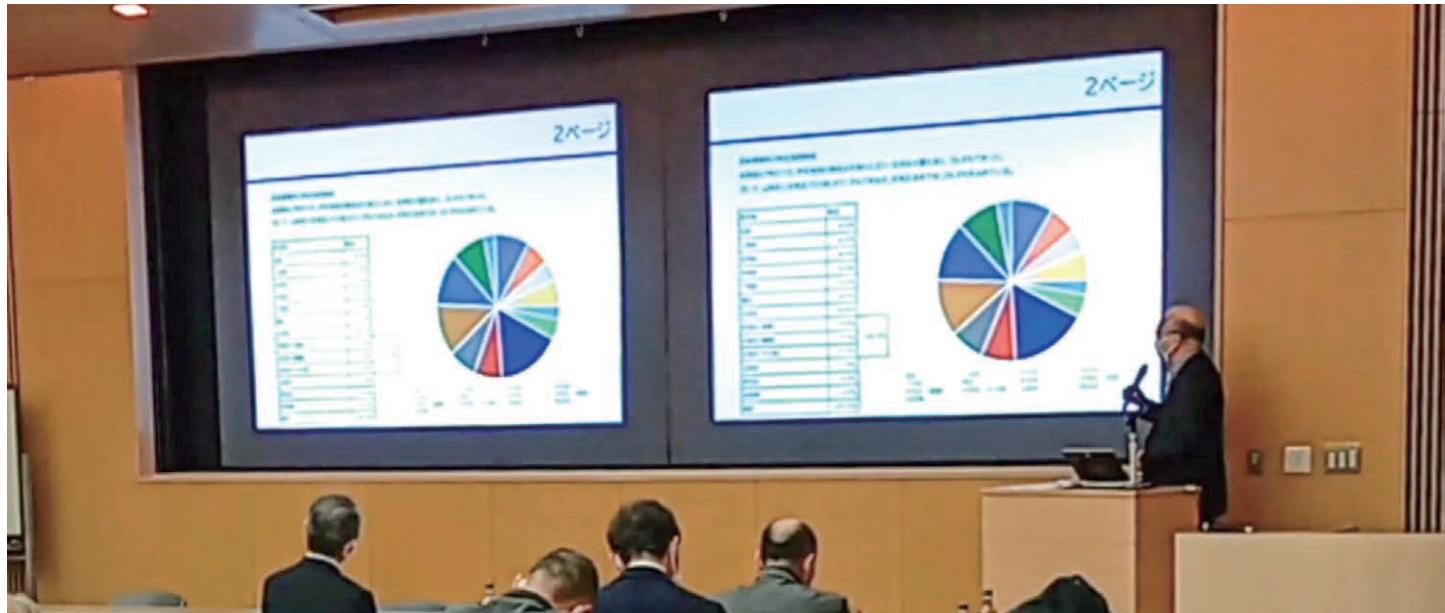
6月11日、第9期ハートメッセンジャーの委嘱式を開催しました。第7期・第8期はコロナ禍の影響によりオンラインでの実施となつたため、対面での委嘱式は実に6年ぶりとなりました。そのため、参加者の多くが初めて顔を合わせる状況で、当時は緊張も見られるのではないかと心配をしていましたが、OBハートメッセンジャーの薮田さんによる活動のやりがいやご自身の体験談を皮切りに、京都市総合教育センターの島先生による「中学校家庭科授業におけるゲストティーチャーの役割と意義」についてご講義が続き、序盤のグループワークから活発な意見交換が始まり、会場は早々に活気づきました。参加者の皆さんには、この授業の重要性や必要性を実感して頂けたようで、講義後に記入いただいた付箋コメントにも、前向きな意見が多くみられ、大いに充実した研修となりました。

また、研修終了後には懇親会も行い、研修時の良い雰囲気をそのままに、楽しい時間を共有することができました。コロナ禍により一時途絶えていた横のつながりを、今回初めて体験された方も多くいらっしゃったと思います。

このようなネットワークの広がりも、ハートメッセンジャー活動の魅力のひとつだと感じています。

## 第9期ハートメッセンジャー 委嘱式・研修報告

6月11日、第9期ハートメッセンジャーの委嘱式を開催しました。



経営委員会の取り組み

「社会福祉事業の経営者は、社会福祉法第5条で規定する多様なサービスについて、利用者の意向を十分に尊重し、かつ保健医療サービスその他の関連するサービスとの有機的な連携を図るよう創意工夫を行いつつ、これを総合的に提供することができるよう」その事業の実施に努めなければならぬ」とされております。また、経営の原則として同法第24条で「社会福祉法人は、社会福祉事業の担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性確保を図らなければならない」として、その経営の目的・原則を遂行するために各事業所においては、事業の目指すべき方向性やビジョンを明らかにした経営戦略を明確にすることが求められ、さらに社会福祉法人として質の高いサービスや経営の透明化等、適正な経営も求められています。

原則を遂行するために各事業所においては、事業の目指すべき方向性やビジョンを明らかにした経営戦略を明確にすることが求められ、さらに社会福祉法人として質の高いサービスや経営の透明化等、適正な経営も求められています。

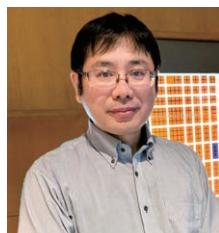
所における経営は、介護報酬が上がらないままに物価高や人件費も高騰するなど財政面で大きな打撃を受け、大変厳しい状況にあります。さらに、ご利用者や職員の確保もままならない状況にあるため、事業の継続という観点において、各事業所とも大変困難な局面にさらされています。

そこで経営委員会では、市老協の考える社会福祉法人に求められる経営は「個別ケアを実現できる職員体制の充実・適切な職員待遇・安定した黒字経営」と位置づけ、その実現のための收支差額や人件費比率等を分析するとともに、さまざまデータをもとに行政にも政策提言を行つております。

また、経営委員会として事務部会を開催し、各事業所において運営に関わる事務職員の実務能力向上のための研修や情報交換会を行なっていく予定しております。

令和2年度調査基準				
京都市老人福祉施設協議会 経営実態調査・調査票（介護老人福祉施設、短期入所生活介護課）				
<p>京都市に在籍する介護老人福祉施設（以下、「事業者」といいます。）と短期入所生活介護（以下、「ショート」といいます。）通所介護（以下、「デイ」といいます。）事業所の経営実態調査並びに需給バランスを把握するため、よろしくお願いいたします。入力に際し、P.10「登録元数」、配属人員、入退職、有給休取扱状況の異なる資料などをご用意いただけます。</p> <p>皆様からいろいろなデータは個人名、事業所名等が特定されてしまうよう、分析をお控えください。</p> <p>分析内容は、京都市の老人福祉施設情報を資料として活用したり、書類にてデータバッファすることにより参考資料として活用いただくことを想定しております。</p> <p>昨年度実績、物価・人件費の変動など経営数値が変化していますので、対前年度比についても調査分析をする予定です。ご理解いただけますよう、よろしくお願いいたします。</p>				
<p>&lt;当月に関する質問合集&gt;</p> <p>京都市老人福祉施設協議会 電話番号：075-355-8743 メールアドレス：jimukyoku@kyoto-shiroukyo.jp</p>				
<p>■ 内容や特徴するに事務局もしくは委託会より直接ご連絡させていただく場合があります。ご了承ください。</p>				
選択項目				
① 法人名				
② 施設名				
③ 代表者氏名				
④ 作成者氏名				
⑤ 連絡先（電話番号）				
⑥ 連絡先（メールアドレス）				
1 基本情報				
① 法人名	支字			
② 施設名	支字			
③ 事業所が所在する区を選択してください。	区			
2 事業所別・定員・経営・構成・ショートにおける構成ごとに回答して下さい				
① 特別看護室を選択してください。	否		是	種別
② 定員数・・・A	新規	内訳	既存	既存
③ 年間延べ利用者数合計・・・B	新規	内訳	既存	既存

# 京都市菊浜特別養護老人ホーム



当施設は、これまで長年、地域の福祉サービスを担ってきた菊浜ショートステイの後を受け、4月より特別養護老人ホーム洛東園（※1）よりの一部移転という形で新たな特養での指定管理者として開所をさせて頂きました。

今回、東山区から下京区への入居者の方々30名以上の引越し、資材等の大規模な移動と特別養護老人ホーム洛東園 平成元年の開所以来の大規模な事業となりました。

移転につきましては、できる限り入居者の方々のご負担のないよう1日で実施させて頂きましたが入居者の方々にとつては毎日見慣れた暮らしの場から、一夜明けて新しい暮らしの場となり、スタッフも昨日までのシフトとは異なる新たなシフトでの翌日を迎えるといったスタートでありました。

その中で無事に終えられたのは、ご入居者・ご家族、そして関係機関の皆様のご理解とご協力あつての事と感じると共に、ご家族や・スタッフなど見慣れた人がいる、いつもと同じ返事が返ってくる……などの、いつも変わらない空気感があつたからと感じています。

フロアについては2フロアとし、夜明けの光景を描き「暁（あかつき）」と「東雲（しののめ）」と名付けました。

施設としては22年目迎え、決して「キラキラ」としたものではないかもしませんが、これまでに培つてこられた地域住民の方々、各団体・関係者の方々との基盤を引き継ぎながら交流を重ね、頼られる施設づくりを目指してまいります。

\*1 特別養護老人ホーム洛東園(東山区)  
4/7より定員56名(広域型)  
→ 定員22名(地域密着型)へ転換

## 京都市菊浜特別養護老人ホーム

### 施設概要

**法人名:**社会福祉法人 洛東園  
**施設長:**石川 周次 (いしかわ しゅうじ)  
**所在地:**〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地 1  
ひとまち交流館京都 4・5 階

**電話:**075-354-8751  
**FAX:**075-354-8752  
**E-mail:**r-kikuhama@wing.ocn.ne.jp

### 事業内容

- ・特別養護老人ホーム 37名 (従来型)
- ・短期入所生活介護 3名 (併設及び空床利用型)



## 一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1ひと・まち交流館京都 4F  
TEL 075-354-8743/FAX 075-343-6270

発行人:児玉直久/編集人:安岡英樹/生田 奕人/北井 いづみ/洞林 孝之

掲載されたすべての写真の肖像権について同意を頂いております。また新型コロナウイルス感染症について、対策を徹底した上で撮影して頂いております。



しろうきょう

検索